

2022 年 3 月 4 日

各位

三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券株式会社



三重県が発行するグリーンボンドの引受けについて

三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券株式会社(取締役社長 荒木 三郎、以下当社)は、このたび、三重県が発行するグリーンボンド⁽¹⁾(10 年債、50 億円、以下、本債券)の引受けにおいて事務主幹事及びストラクチャリング・エージェント⁽²⁾を務め、本日、本債券の条件が決定されましたことをお知らせします。

本債券による調達資金は、「みえグリーンボンドフレームワーク」内における地球温暖化の緩和策として、温室効果ガスの排出削減・吸収源対策を目的とした事業、また適応策として、気候変動の影響の軽減対策事業に充当されます。

本債券は、適合性と透明性の確保及び投資家への訴求力向上のため、グリーンボンド原則 2021 (ICMA) 及び環境省グリーンボンドガイドライン 2020 年版に則して策定されたフレームワークに基づき発行され、第三者評価機関である株式会社格付投資情報センター (R&I) よりグリーンボンド発行に係る各種基準への適格性について評価を取得しています。

2006 年に国連責任投資原則 (PRI: Principles for Responsible Investment) が制定されて以来、世界の ESG 投資が拡大していることを受けて、資金使途を環境対策事業とするグリーンボンドや社会貢献事業とするソーシャルボンド、両方の特性を有するサステナビリティボンド等の発行は増加傾向にあります。引き続き、当社は、企業・経済の成長と社会・環境との両立の観点から、ESG をテーマとした債券の引受けを一層推進するとともに、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

(本債券の概要)

名	称：	三重県令和3年度第2回公募公債(グリーンボンド)
発	行	限：10年
発	行	額：50億円
利		率：0.269%
発	行	日：2022年3月4日
償	還	日：2032年3月4日
資	金	使
途：地球温暖化の緩和策として、温室効果ガスの排出削減・吸収源対策を目的とした事業、また適応策として、気候変動の影響の軽減対策事業		
主	幹	事：三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社(事務) 野村証券株式会社
ストラクチャリング・エージェント：三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社		

- (1) グリーンボンドとは、国際資本市場協会(International Capital Market Association:ICMA)が定義する「グリーンボンド」の特性に従ったものであり、環境事業に要する資金を調達するために発行する債券です
- (2) グリーンボンドのフレームワークの策定及びセカンドパーティ・オピニオン取得の助言等を通じて、グリーンボンドの発行支援を行う者

※SDGs 債ロゴについて

日本証券業協会によると、調達資金がSDGsに貢献する事業に充当される債券、いわゆる「SDGs 債」には、SDGsの中でも環境・社会へのポジティブなインパクトを有し、一般的にスタンダードとして認められている原則(例えば、国際資本市場協会(ICMA)によるグリーンボンド原則、ソーシャルボンド原則、サステナビリティボンド・ガイドラインなどを指します。)に沿った債券や、事業全体がSDGsに貢献すると考えられる機関が発行し、インパクト(改善効果)に関する情報開示が適切になされている債券が含まれます。当該ロゴは、前述の条件に適合する債券等に対し、使用を認められているものです。

以 上